

	団体名 構成員名	Q2 令和6年度以降に実践的に取り組めないか、取り組んではどうかと考える事項（テーマ・項目ごと）		キーワード
		取組内容	その理由	
・観光のイベント等の 情報発信、広報等関係	高松大学・ 高松短期大学	四国霊場の札所寺院における「お接待」	四国遍路の世界遺産登録推進の機運の向上に寄与することにより地方の活性化に繋ぐことができる	観光・イベント等
	宇多津町	瀬戸内国際芸術祭の取組及び連携強化	宇多津町は初めての参加で手探りであり、これまでの知見と多方面のアイデアを得たい。 （ただし、瀬戸内国際芸術祭に参加していない自治体も含まれるため、難しいか。）	
		大阪万博に向けた香川県への誘客施策の検討	数十年に一度のビッグチャンスに対して、産官学が連携して何か取り組めないか。	観光・イベント等情報発信、広報
	高松市	県内大学生等が観光や特産品、文化イベントを体験し、それについて投稿し、投稿の拡散によって、消費拡大を図るために、情報発信プラットフォームの構築	若い世代に対して、観光コンテンツや特産品振興イベント、文化施設等での催し物や展覧会等についての情報が十分に届いておらず、情報発信を強化する必要があるため。	
	観音寺市	インバウンド向けに、地域固有のアクティビティや文化体験を含めた「体験型観光」の県下の現状を把握し、観光素材として対外的にプロモーションする事業。	関西万博に合わせて絶好のタイミングであり、県内全体で広域的に取り組む内容として最適であるとする。	
	丸亀市	各構成員が主催する行事等で、ボランティアを募集する情報を取りまとめ、県内外に発信する	ボランティアに関する情報を得やすくすることで、活動を活性化させるため	ボランティア情報発信
・調査結果の共有、 活用等関係	坂出市	アンケート調査の詳細分析等と対策検討	次年度は県内市町の多くにて、地方版総合戦略の改定を予定しており、若者の定着に関する詳細な分析や外国人ニーズ等の調査結果は、改定に向けた参考調査として有意義なものと考えられるので。	調査結果の共有・活用
	三豊市	就職・産業振興部会が行った学生アンケートの調査結果の共有・相互検討会	地域活性化において、若い世代の地元就職やUターン就職などはメリットになると考えるので、情報を相互的に共有することで、新たな取り組みにつなげることができる。	
	小豆島町	アンケート調査の対象や対策の強化（既存）	対象や内容を拡大・深堀りし、より効果的な取り組みにしていく必要があると考えるため。	
・相互交流、 マッチング等関係	四国学院大学	学生たちに参画・協力してほしい市町の具体的課題・企画・行事等を地域活性化部会にて挙げてもらい、それに応じられる大学をP Fにてつなぐ。	各市町からの支援や協力依頼については、基本的には大学へ個別に依頼するのが現状だと思われるが、広く地域課題を県内全ての大学に問える場（P F）があるにもかかわらず活用できておらず、具体的に進んでいない。	学生生活用のマッチング
	香川県中小 企業家同友会	地域課題解決プロジェクト	PFとしての大きなテーマは「若者の県外流出」だが、各自治体が抱えている課題は他にもあるはず。その、各自治体の具体的な課題を抽出して、実際に課題解決に向けて活動する。毎年新しいことをぶつ切りに取り組むのではなく、小さな成功事例を積みあげていく。 ①まずは課題を抽出 ②その課題に対して、産公学（※当会では官を公と表現）が知恵を出し合って解決策を検討 ③解決策に対しての具体的な事例づくり	大学とのマッチング
			大学側の強みが分からないため、まずは、互いに知り合うことが必要だと考える。	
	さぬき市	各機関のニーズ／シーズ調査及びマッチングの実施。	自治体の抱える課題を解決するために、様々な視点で取り組む必要がある。	課題解決に向けた連携
		産官学が連携した自治体の課題解決プロジェクトの実施。		
	高松市	県内企業、県内大学等の研究者、行政との間の産学官連携に向けた交流会やマッチング商談会の開催	地域課題の解決や新たな産業・事業の創出を図るためには、産学官の連携を強化する必要があるため。	交流・マッチング会
	善通寺市	産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	連携する土壌（人と人との繋がり）が整っていない・足りないと感じるため。	
	三豊市	進学・教育部会、就職・産業振興部会との相互的に交流ができる勉強会等の開催	部会の垣根を超えた交流があまりできていない為、有益な情報交換を行いたい。	交流会・勉強会
・学生の交流 ・連携等関係	香川大学	【香川と都市圏の大学連携推進事業（KBP）】うどん県で楽しいをシゴトにする2024（仮称）	県内の自治体・地場産業・団体の取り組みを知るとともに、専門分野やバックグラウンドの違う様々な学生の交流により課題解決案の質向上や、提案内容の実装、さらには県内外の学生の県内定着を見込める。	都市圏等との学生交流
		【香川と都市圏の大学連携推進事業（KBP）】地域をデザインする2024（仮称）	県内の地域課題についてフィールドワークやインプットトークを通し理解するとともに、専門分野やバックグラウンドの違う様々な学生の交流による課題解決案の創出・提案内容の実装、研究テーマへの発展など好事例が見込まれる。	
	徳島文理大学	「県内大学生による研究内容パネル発表展」を企業、自治体、高校生など広く県民を対象として開催する。	「香川県ビジネスチャレンジコンペ」のような書類選考では大学生の持つ可能性への認知が広がらないと考える。企業や地域の活性化に繋がることが期待できる。	学生によるPRコンテスト
	香川短期大学	地元農産物を活用した食品レシピの開発を引き続き実施する。	地元の食の魅力の宣伝に効果的であり、人を呼び寄せる効果が期待できる。	学生との共同開発
	東かがわ市	瀬戸内国際芸術祭を見据えた学生目線による特産品を活かした食事メニューの開発・提供（瀬戸内国際芸術祭期間中）	学生目線によるアイデアを活用したいため。	
		オンライン会社見学動画の作成事業	学生目線で取材した動画を作成することにより、学生と企業のマッチング強化につながると考えているため。	学生と地域企業の連携
・その他関係	徳島文理大学	経済団体による地域の担い手育成のための大学生奨学金を創設する。	県内若者定着に繋がることが期待できる。	経済団体の奨学金制度創設
	土庄町	自治体と大学との個別の連携に対する支援	個別の連携を支援することで大学、自治体の積極的な官学連携を創出し、産業との連携も必然的に発生する。	個別大学連携支援
	綾川町	地域運営組織との連携	地域運営組織の取組み等について、産学官と地域が協働して、新しい視点での取組みを検討し、若い世代にも魅力ある活動を展開する。	地域との協働
	まんのう町	県内の大学生向けの企業説明会	若者の定住促進に関して、就労は非常に大きな観点だと感じるため	企業説明会